



一部五円 所次 伊万里市役所 山口正 伊万里市大坪町甲2869 TEL 710 印刷所 山口印刷会社 TEL 286

地之り 特集号

死体発掘遂に空し!

災害復舊に全力傾注

義捐金七十万円を突破

地之りの概況

という人的被害は、全市民をして 愕然たらしめた。

同地は昭和二十六年に発生した大 地之りの南側に当り、土質は 第三紀層の上に堆積した風化玄武 岩で、数日來の豪雨に堪えかね崩 壊したものと思われ、既に本年三 月頃より亀裂を生じ部落民に対し ては、避難を勧告されていたもの である。

被害の程度 (1)人の被害 死亡一、行方不明六 負傷一 (2)家屋 住家十二戸、非住家八戸 公民分館一戸 (3)田 五町一反三畝 (4)畑 二町 (5)宅地 一、四二五坪 (6)農道 一、〇〇〇米 (7)水路 一、〇〇米 (8)生産物 水稲被害 五町一反 野菜 一反 果樹 一町八反

各機関の出動状況 (1)大村駐屯自衛隊 七七五人 (2)県警察機動隊 一六二人 (3)消防団 二、一九九人 (4)山代婦人会 二二五人 (5)同青年団 一三五人 (6)市役所 三〇〇人 合計 三、七九六人

市議会の活動 (1)七月七日 全体協議会 (2)災害状況並に災害対策措置に関 する報告 (3)罹災者に対する救助問題につ いて (4)国、県に対する災害復旧陳情 について (5)七月九日 全 市協議会

緊急措置 (1)救助並に避難作業の指揮 (2)山代町に地之り対策本部を設 け、山代町役所の下に緊急対策 本部を設ける。

七月六日山代町西大久保に起 つた人形石山の地之りは、幅員百 五メートル、長さ七百メートル 土量実に百万立方メートルに及 び、重なる災害に地元民は今更 の如く自然の猛威に驚愕、剃髪死 亡二名、行方不明六名、負傷一名

合同慰霊祭 七月十七日午後三時より、山代 小学校に於て部落主催の下、死 者山口フデさん行方不明者六名 の合同慰霊祭を執行、橋口市長を はじめ山下県会議長他参会者六百 余名に上る。

見舞金 (1)住宅問題 災害住宅二十戸の完成まで旧経 理専門学校校舎充當 (2)見舞金、町長見舞金各三万円 見舞金として罹災者各戸三万円 外に、山代町長見舞金三万円、 金子虎右衛門氏三万円、山口亀 雄氏二万円、山口シズ子様五千 円を贈呈

調査団の来訪 (1)七月二十三日社会党調査団 伊藤四郎氏を団長とし、県下 社会党代議士を含む一行 (2)七月二十六日 自民党大坪、真崎副代議士相前 後して来訪

お知らせ (1)金五千元也 (2)立花町西門、高坂敬美氏より亡 妻ササキ殿の香典返しとして寄 贈。 (3)山代町久原、井手龍美津子殿よ り故法殿の香典返しとして寄贈 一、金五千元也

黒川町花房にも地之りの危険 立退きを要する二十一世帯 山代町人形石山の地之り対策 部に狂走する折、黒川町花房地 区にも亀裂を生じ、一雨毎に拡大 寸、これが緊急対策を講ずる必要 に迫られた。

地之り対策緊急協議会開催 事前措置に特別立法化要請 長崎、佐賀、熊本各県をはじめ 最近九州一円に於ける地之りの 被害相次いで発生し、地方自治 痛の種となつて。 地之りに対する対策として、これ が 緊急協議会を開催した。 結論として 一、地之り防止対策として、事 前措置が必要であること。 二、復旧対策には高率補助或は政 府資金の長期低利融資の必要な事 三、右達成のため特別立法化が緊 急事となること。 となり、関係機関に対し、早急な 対応を要する。 山代町市長及び隣接長崎 県松浦市長の提唱で、去る六日九 州一円に於ける関係市町村の関

各機関の出動状況

(1)大村駐屯自衛隊 七七五人 (2)県警察機動隊 一六二人 (3)消防団 二、一九九人 (4)山代婦人会 二二五人 (5)同青年団 一三五人 (6)市役所 三〇〇人

市議会の活動

(1)七月七日 全体協議会 (2)災害状況並に災害対策措置に関 する報告 (3)罹災者に対する救助問題につ いて (4)国、県に対する災害復旧陳情 について (5)七月九日 全 市協議会

緊急措置

(1)救助並に避難作業の指揮 (2)山代町に地之り対策本部を設 け、山代町役所の下に緊急対策 本部を設ける。

(3)七月十三日 緊急打合せ (4)七月十七日 打合せ(全) (5)八月一日 議員一行 (6)八月十日 自治行政務次官中 島

北村徳太郎氏来訪



写真は盛んだった合同葬 立てるはじき友(好英君)に申辭を捧げる級友

野々頭部落会七千円、伊万里農業 協三三〇円、伊万里銀行久原支店三 千円、伊万里市議会議員一〇二〇円、 伊万里市連合青年団一〇二〇円、西松 浦酒造組合五〇〇円、立川炭坑子供 クラブ二〇〇円、大川内小学校児童 会一〇〇円、東山代町婦人会二〇〇円、 伊万里商店街連合会一七七六六円、 樋口鋳業会二〇〇円、トイ ハツ消防ポンプ店徳永正夫二〇〇円、 佐賀県町村会長三三〇円、伊万里市 区長連盟五〇〇円、 西分部落一〇〇円、伊万里市婦人会 二〇〇円、久原炭坑一〇〇円、新伊万 里炭坑一〇〇円、佐賀県町村議会議 長会二〇〇円、中原商店三〇〇円、唐 津酒造第七回第一節出選選手一〇 三〇〇円、佐賀県職員組合五〇〇円、 浦ノ崎支部一〇〇円、浦ノ崎 市内小中学校職員生徒 同七二〇円、 西有田村下山谷婦人会四百五十円、 西有田村婦人会三百七十円、西有 田村婦人会二〇〇円、西有田村婦人 会支部四百五十円、西有田村婦人会 支部五百円、同切、牧支三〇〇円、同切、 口白米七升、牧三升八合、伊万里 地区労働組合協議会、有限会社同 際映画八千円、佐賀県婦人連合会 二〇〇円、浦ノ崎杉元重三、千円、 東分部落八千円、立岩部落七千円、 浦ノ崎部落同婦人会三千三百円、 五〇〇円、黒川川原水太一、西肥自 製菓KK水太一、同伊万里営業所 車KK二〇〇円、同伊万里営業所 職員一〇五〇円、殿木町三三〇円、 同役員職員一〇二〇円、北方町二 千円、佐賀県連合青年団佐賀県青 年会館一〇〇円、 本願寺派松浦組松浦青年会三三四 百六十円、佐賀県連合青年会三三二 千円、佐賀県事務所西松浦支所 職員一〇二〇円、全食糧労働組合 花房部落白米一斗一升、京都市西 本願寺タタル一斗、伊万里市婦 人会シヤツ、ステテコ、作業衣、 菓子、柳井町山口房子衣類三三三 点、早田書店紙、むさし屋 タオル、池永荒物店枕、若松屋洗 濯石鹸、池永パール洗濯石鹸、三 溝本店シヤツ、大黒屋シヤツ ツ竹下衣料店、大黒屋シヤツ 本園金物店ボール、岩田屋焼物血 小山陶器店焼物茶碗、 井上金物店、古伊万里堂マ ッチ、西松浦運送株式会社二一 打、岩永清鋳造精鑄日本、黒川町 花房部落白米一斗一升、京都市西 本願寺タタル一斗、伊万里市婦 人会シヤツ、ステテコ、作業衣、 菓子、柳井町山口房子衣類三三三

市福祉事務所 松浦市教育委員会一〇〇円、西本願 寺佐賀教区一〇〇円、西本願寺佐賀 教区寺婦人会一〇〇円、新山代炭 坑女労働組合一〇〇円、同職員組 合一〇〇円、新山代炭坑九千九 百六十円、東松浦町村会一〇〇 円、日南部落五百円、 瀬野小学校児童会一〇〇円、瀬野中 学校生徒会一〇〇円、瀬野中 学校生徒会一〇〇円、荒原 稲穂社五〇〇円、山代町会三三〇 円、山代町出身伊万里市職員一〇二 千円、佐賀県職員組合西松浦支部 一〇〇円、昭和自動車KK運転手(匿名)五百円、伊万里市連合青年 団一〇〇円、大川内山代炭坑青 年部五百円、佐賀朝鮮人連合会佐 賀本部常任委員会一〇〇円、東山 代小中瀬野小中、P.A.五〇〇円、 伊万里市民生委員協議会三三〇円、 伊万里市YMCA組合八〇〇円、小 信愛女学院一年A組八百円、小 信愛女学院二年A組八百円、伊万里 市出張所ヤクルト六百円、山代 町九重路五郎重四郎、山代東 小学校児童館筆他教員、山代町西 二〇〇円、西日本新聞タタル二十枚 分原田博一、山代町、浦崎和田 夕刊フクニチタタル二十枚、 商店テンアラ七枚、向山炭坑松浦 町連合婦人会一〇二〇円、日南 町開拓茶袋、今福町金、本商店 子忠石門木炭一、ヤクルト、竹 久野、久原野、伊万里町内浦 伊万里出張所ヤクルト六百円、 山代東、福満市須賀君枝衣類十 代町九重路五郎重四郎、山代 小学校児童館筆他教員、山代町西 二〇〇円、西日本新聞タタル二十枚 分原田博一、山代町、浦崎和田 夕刊フクニチタタル二十枚、 商店テンアラ七枚、向山炭坑松浦 町連合婦人会一〇二〇円、

伊万里市役所 市長 橋口四郎 助役 山口正次 収入役 大川内善次 外職員 一 同 伊万里市議員 議長 武藤庄三郎 議員 一 同 伊万里市教育委員会 委員長 松尾加助 委員 山崎重雄 他職員 一 同

暑中御見舞申上げます 昭和三十三年盛夏 伊万里市役所 市長 橋口四郎 助役 山口正次 収入役 大川内善次 外職員 一 同



デビユーした橋久海水浴場 橋久劇場前(西肥バス)下車、徒歩約五分である

両親教育

終戦後十二年……物心両面における急激な変化は混乱の淵を巻いて、想像もつかぬ現象が、時と場合にかまかまなく現れている。不良少年の問題や家庭争議も、この混乱の落し子と云へよう。

農村における夫婦問題について

複雑な日本の家庭生活

アメリカでは、夫婦に子供といふのが普通で、然るも一家の配当を振る者が母である場合が多い。

農業基本調査

新市建設計画の基本調査の一手続として、今回農業基本調査を行うことになりました。

あぶない乳児の下痢

取り返すかぬ素人療法

日本の乳児の死亡率は減少し、栄養状態が悪くなる多発性の二の型があります。

日本脳炎の予防

夏に入ると日本脳炎が流行します。この病気がかかると、手足がきかなくなったり、顔がゆがんだり、心かけることなど、又予防注射は効果があります。

盛況だった西瓜祭

ミス西瓜に河原ヒロ子さん

富岡町の呼名で遠く北九州まで、本年度のミス西瓜に選ばれた。

ミス西瓜入選者

小作地と牧地を調査

農地では毎年四月一日現在農地を調査する。耕作状況を調査する。

異議申立ては縦覧期間中に

この調査によつて法的な保護を受けることもあり、本人が認めたことになり、後で異議を申立てても法的に保護をうけることがありません。

農業委員の選挙を省みて

選挙管理委員会委員長 太田尾隆造 選挙も本格的となり、青田に生々たる選挙は国会議員をはじめ多数種に執行されるものであります。



上はミス西瓜に選ばれた河原ヒロ子さん(中央)と準ミスの本山さん(左)中島さん(右)



下はアツという間に150名を平げた猛者連

会長に中島氏選任

二十九日農業委員会初総会

一本化された伊万里市農業委員の初総会は、去る二十九日午前九時より、大坪小学校講堂に於て開会された。

川内伊知郎 副委員長、古賀儀助 平尾亀次(南波多町) 前田喜一、前田一男、藤田文雄、山口新助